

3. 事業収支

項目	収入区分	ビジネス環境		備考
		現在	新球場 (2023年～)	
対個人 ビジネス (B-C)	① チケット収入	△	◎	・現球場は野球とサッカーの兼用スタジアム。野球開催時はスタンドと選手の距離が世界一遠く、臨場感に欠ける。また、座席も画一的なため多様な観戦スタイルをファンに提供できない。
	② グッズ収入	X	◎	・現状では、チーム・選手のグッズを販売すると30%以上の手数料が徴収される仕組み。新球場においては手数料の発生なし。
	③ 飲食収入	X	◎	・現状では、球場飲食の取扱いは一切なし。新球場は食品メーカーを親会社に持つ球団としてのプレゼンス発揮が可能。
	④ その他 B-Cビジネス収入	△	◎	・ファンクラブ収入等が該当。自社保有の球場によりファンクラブ会員へのサービス提供に関しても自由度がアップ。
対法人 ビジネス (B-B)	⑤ 放映権収入	○	◎	・テレビ・ネット放送のカメラ位置等の自由度が増し、これまでにない映像の撮影が可能になる。放送権だけでなく、SNS等のWEB上のコンテンツ制作にもプラス。
	⑥ 広告収入	X	◎	・これまで球場内のスポンサー広告は全て札幌ドーム側に帰属。新球場では全額当社側に帰属。看板以外にも自由度が増すことで広告収入の増加が見込める。
	⑦ その他 B-Bビジネス	○	○	・ゲームソフトのライセンス許諾、商品のPR目的で球団ロゴ・マスコット等を利用する企業からの収入項目。